

保土ヶ谷区に関わる様々な人や団体が、それぞれの立場で「ほっとなまちづくり」に取り組みます。また、お互いに協力・連携することで取組を更に充実させていきます。



① 区全域計画

保土ヶ谷区在住・在勤・在学の皆さんや関係団体・機関、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所などが、連携しながら進めています。

取組の状況については、区内の様々な関係団体・機関が参加する「保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進会議」において確認し、振り返りを行うとともに、今後の方向性などの意見をいただきます。地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所は事務局として会議を開催するとともに、推進会議の意見を踏まえ、区民の皆さんや関係団体・機関と協働して区全域の取組を更に充実させていきます。

また、3つのテーマごとの地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組については、各機関において継続的に取り組み、取組状況やその成果の両面で振り返りを行い、推進会議で報告します。

② 地区別計画

地区ごとの目指す姿に向かって、様々な取組を進めていきます。地区別計画でまとめた「目指す地域の姿」「取組目標や具体的な取組」は、毎年振り返りを行い、取組状況やその成果を確認することで、今後の活動につなげていきます。また、より効果的に取り組んでいくため、地区内の様々な活動の状況や地域の困りごとを、関係者が定期的に情報共有することも大切です。地区支援チームが地域の皆さんと一緒に地区別計画を進めていきます。

話し合いを行う場には、広く状況把握や検討、連絡調整ができるように、地域で活躍する様々な人に参加していただくことが望ましいです。

なお、各地区の取組状況は、様々な機会（「ほっとなまちづくりフォーラム」での活動発表や広報よこはま区版など）を活用して区全体で共有していきます。

③ 振り返りとスケジュール

ほっとなまちづくりは、区民の皆さんをはじめ様々な関係機関、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所が一緒になって、策定・推進する計画です。

結果だけでなく、様々な人が参加して取り組んだ過程、多くの人に関心を持ってもらったか、様々な団体や機関が協力して取り組めたか、などの「大切にする視点」を踏まえた振り返りも重要です。

大切にする視点



地域のみんなを対象に / 地域のみんなで進めよう

＼振り返りのポイント／

- ① 目的に合った取組ができたか
- ② 様々な人や団体と協力して取り組めたか
- ③ 地域にとってどのような良いことが起こったか

例えば、地区別計画では…

＼振り返りのポイント／	例1(地域活動の担い手不足)	例2(会食会参加者の高齢化)
ポイント① 目的に合った取組が できたか	地域活動の参加者を増やすために、住民アンケートを行った。	自力で参加できなくなった高齢者に向けて、会食会を一部配食にして対応した。
ポイント② 様々な人や団体と協力して 取り組めたか	様々な人や団体に協力してもらえるよう、事前に説明を行い、内容検討や配布回収にも関わってもらえた。	近所の人にも協力してもらい、自宅に届けることができた。小学生の書いたイラストをカードにして添えたところ喜ばれた。
ポイント③ 地域にとってどのような 良いことが起こったか	住民の希望や特技が確認でき、地域活動に関わる人が増えた。	会食会を欠席していた人にも、食事を楽しんでもらえ、安否確認ができた。
Step up	同じ特技を持つ人がつながって、地域で活躍できる場がないかな…	なかなか外出できないと話していたので、何かお手伝いできることはないかな…

《スケジュール》



活動を更に盛り上げていくために

目標に向けて取組を実行したら、皆で振り返りを行い、その成果や課題点を話し合い、今後の活動につなげていきましょう。様々な情報を共有し、アイデアを出し合うことで、一人ひとりのやりがいや喜びも生まれます。

イメージ図

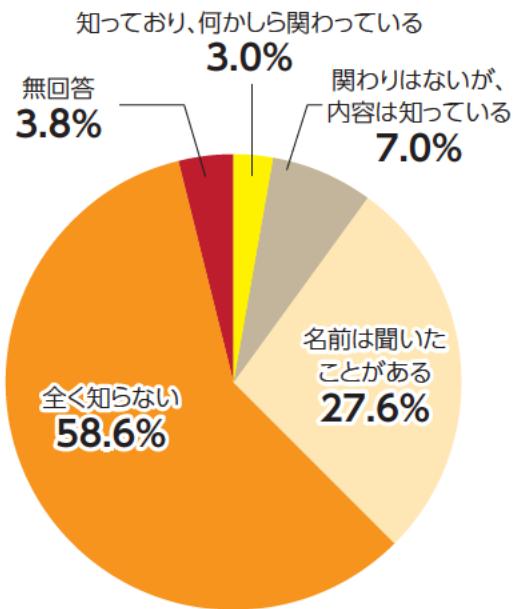




「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」を広く知ってもらうために

あなたは「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」を知っていますか？

「全く知らない」が58.6%と過半を占めています。
「知っており、何かしら関わっている」(3.0%)、「関わりはないが、内容は知っている」(7.0%)を合わせても、内容まで認知されている割合は10%であり、更に広く知ってもらう必要があります。



※保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート(令和元年度)

調査対象:18歳以上の区民4,000人(無作為抽出) 有効回答者数:1,794人(有効回答率44.9%)

※回答の比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

ほっとなまちづくりをいろいろな機会を通して多くの人に知ってもらうことが「地域のみんな」で取り組むためには必要です。

〈例え…〉

- ・広報紙 ・新聞 ・ちらし ・まちの掲示板 ・区民まつりや地域の行事 ・イベント
 - ・公共交通機関の掲示板 ・テレビやラジオ ・ウェブサイト ・SNS など
- 様々な世代の人にPRできるように、媒体や方法を工夫します。



地域の運動会で
ほっとなまちづくり〇×クイズ



区社会福祉協議会
Facebook

地域の活動に参加している皆さんからの発信や声かけも大事な方法の一つです。
ほっとなまちづくりをより身近に感じてもらえる取組を行うとともに、活動を理解する人や活動に参加する人を増やしていきます。



地域ケアプラザとは

地域の福祉保健の総合相談窓口として住民に寄り添い、また、活動をサポートする、福祉保健の拠点として区内7か所^{*}に設置されています。皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活ができるように、まちづくりに取り組んでいます。

※今井・岩崎・上菅田・川島・常盤台・仏向・星川地域ケアプラザ
令和5年度に区内8か所目の地域ケアプラザが開所予定です。



主な機能

● 地域活動・交流

地域の福祉・保健活動の支援 / ボランティア活動の支援 / 自主事業の開催

● 生活支援体制整備

見守りの仕組みづくり / 通いの場づくり / 生活支援の仕組みづくり

● 地域包括支援センター

福祉保健に関する相談・支援の総合窓口 / 地域住民、事業者、医療機関などとのネットワークづくり / 介護予防・認知症予防などの事業の開催、地域の活動の支援 / 高齢者虐待の防止や消費者被害の防止などの取組

● 居宅介護支援

介護認定の申請・更新手続きの代行 / ケアプランの作成

※その他、デイサービスを行っている施設もあります。



区社会福祉協議会(区社協)とは

「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」を活動理念として福祉のまちづくりに取り組む、民間の社会福祉法人です。

連合自治会町内会、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、障害者団体など当事者団体、ボランティア・市民活動団体、社会福祉施設・関係団体、区役所など多様な会員で構成された協議体です。

主な取組

①団体活動などの支援

- ・地区社会福祉協議会支援
- ・福祉活動団体支援
- ・ふれあい助成金
- ・福祉保健活動拠点の運営 など

②相談・個別支援事業

- ・ボランティアセンター
- ・あんしんセンター
- ・移動情報センター
- ・生活福祉資金貸付 など

③つながり・支えあいの仕組みづくり

- ・個別ニーズに基づく新たな資源開発 など

④福祉啓発・福祉教育

- ・福祉情報の発信、PR
- ・福祉教育の実施 など

⑤福祉活動に必要な財源の確保

- ・賛助会費、共同募金、善意銀行 など

地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点 所在地



① 上菅田地域ケアプラザ

上菅田町1696
電話 371-3831
FAX 371-3810

② 横浜市川島地域ケアプラザ

川島町360-2
電話 370-1550
FAX 744-6443

③ 横浜市仏向地域ケアプラザ

仏向町1262-3
電話 336-1565
FAX 342-1571

④ 横浜市今井地域ケアプラザ

今井町412-8
電話 351-8812
FAX 351-8814

⑤ 横浜市岩崎地域ケアプラザ

岩崎町37-5
電話 334-1551
FAX 334-1500

⑥ 横浜市星川地域ケアプラザ

川辺町5-11かるがも1~2階
電話 333-9500
FAX 340-2100

⑦ 横浜市常盤台地域ケアプラザ

常盤台53-2
電話 339-5701
FAX 339-6068



★ 区社会福祉協議会・

福祉保健活動拠点

川辺町5-11かるがも3階
電話 341-9876
FAX 334-5805